

TLA5000B シリーズ ロジック・アナライザ インストール・マニュアル

このマニュアルでは、TLA システム・ソフトウェア・バージョン 5.10 以上をサポートしています。

警告

保守点検に関する説明は、資格のあるサービス担当者のみを対象としています。危害がおよぶ恐れがありますので、資格がない限り保守点検を行わないでください。保守点検を実行する前に、すべての安全性に関するサマリをご覧ください。

www.tektronix.com

071-2068-00

Tektronix

Copyright © Tektronix. All rights reserved. 使用許諾ソフトウェア製品は、Tektronix またはその子会社や供給者が所有するもので、米国著作権法および国際条約の規定によって保護されています。

Tektronix 製品は、登録済および出願中の米国その他の国の特許等により保護されています。本書の内容は、既に発行されている他の資料の内容に代わるものです。また、本製品の仕様および価格は、予告なく変更させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

TEKTRONIX および TEK は Tektronix, Inc. の登録商標です。

Tektronix、Tek、MagniVu、および iView は Tektronix, Inc. の登録商標です。

Tektronix 連絡先

Tektronix, Inc.
14200 SW Karl Braun Drive
P.O. Box 500
Beaverton, OR 97077
USA

製品情報、代理店、サービス、およびテクニカル・サポート:

- 北米内: 1-800-833-9200 までお電話ください。
- 世界の他の地域では、www.tektronix.com にアクセスし、お近くの代理店をお探してください。

保証 2

当社では、本製品において、出荷の日から1年間、材料およびその仕上がりについて欠陥がないことを保証します。この保証期間中に製品に欠陥があることが判明した場合、当社では、当社の裁量に基づき、部品および作業の費用を請求せずに当該欠陥製品を修理するか、あるいは当該欠陥製品の交換品を提供します。保証時に当社が使用する部品、モジュール、および交換する製品は、新しいパフォーマンスに適應するために、新品の場合、または再生品の場合もあります。交換したすべての部品、モジュール、および製品は当社で保有されます。

本保証に基づきサービスをお受けいただくため、お客様には、本保証期間の満了前に当該欠陥を当社に通知していただき、サービス実施のための適切な措置を講じていただきます。お客様には、当該欠陥製品を梱包していただき、送料前払いにて当社指定のサービス・センターに送付していただきます。本製品がお客様に返送される場合において、返送先が当該サービス・センターの設置されている国内の場所であるときは、当社は、返送費用を負担します。しかし、他の場所に返送される製品については、すべての送料、関税、税金その他の費用をお客様に負担していただきます。

本保証は、不適切な使用または不適切もしくは不十分な保守および取り扱いにより生じたいかなる欠陥、故障または損傷にも適用されません。当社は、以下の事項については、本保証に基づきサービスを提供する義務を負いません。a) 当社担当者以外の者による本製品のインストール、修理またはサービスの試行から生じた損傷に対する修理。b) 不適切な使用または互換性のない機器への接続から生じた損傷に対する修理。c) 当社製ではないサプライ用品の使用により生じた損傷または機能不全に対する修理。d) 本製品が改造または他の製品と統合された場合において、改造または統合の影響により当該本製品のサービスの時間または難度が増加したときの当該本製品に対するサービス。

この保証は、明示的または黙示的な他のあらゆる保証の代わりに、製品に関して当社がお客様に対して提供するものです。当社およびベンダは、商品性または特定目的に対する適合性について一切の黙示保証を否認します。欠陥製品を修理または交換する当社の責任は、本保証の不履行についてお客様に提供される唯一の排他的な法的救済となります。間接損害、特別損害、付随的損害または派生損害については、当社およびそのベンダは、損害の実現性を事前に通知されていたか否に拘わらず、一切の責任を負いません。

保証 9(b)

当社では、ソフトウェア製品を提供する目的で使用されているメディア、およびそのメディア上のプログラムのエンコードにおいて、出荷の日から3か月間、材料およびその仕上がりについて欠陥がないことを保証します。この保証期間中にメディアまたはエンコードに欠陥があることが判明した場合、当社では、当該欠陥メディアの交換品を提供します。ソフトウェア製品を提供する目的で使用されているメディアを除き、本ソフトウェア製品は、明示的保証または暗示的保証を問わず何等保証のない“現状有姿”のまま提供されています。当社では、本ソフトウェア製品に含まれる機能がお客様の要求を満たすこと、プログラムの動作が中断されないこと、エラーが発生しないことのいずれも保証いたしません。

本保証に基づきサービスをお受けいただくため、お客様には、本保証期間の満了前に当該欠陥を当社に通知していただきます。お客様から通知を受けた後、妥当な期間内に材料およびその仕上がりについて欠陥がない交換品を提供できない場合、お客様は、本ソフトウェア製品のライセンスを終了して本製品とその関連材料を返却し、お客様が既に支払った代金を払い戻すことができます。

この保証は、明示的または暗示的な他のあらゆる保証の代わりに、製品に関して当社がお客様に対して提供するものです。当社およびベンダは、商品性または特定目的に対する適合性についての一切の暗示保証を否認します。欠陥メディアの交換またはお客様が支払った代金払い戻しを行う当社の責任は、本保証の不履行についてお客様に提供される唯一の排他的な法的救済となります。間接損害、特別損害、付随的損害または派生損害については、当社およびそのベンダは、損害の実現性を事前に通知されていたか否に拘わらず、一切の責任を負いません。

目次

安全にご使用いただくために.....	iii
安全に保守点検していただくために.....	v
環境条件について.....	vi
まえがき.....	vii
TLA5000B シリーズ・ロジック・アナライザ.....	vii
マニュアル.....	viii
基本的なインストレーション.....	1
付属品リストのチェック.....	1
環境条件について.....	1
シャーシのグラウンド接続.....	2
アクセサリの接続.....	2
プローブの接続.....	4
初めての操作.....	5
受入検査の実行.....	7
ユーザ・ファイルのバックアップ.....	7
ターゲット・システムへのプローブの接続.....	7
追加情報.....	8
製品の概要.....	9
前面パネル・コントロール.....	9
外部コネクタ.....	9
ソフトウェアのリストアとインストール.....	11
ハード・ディスク・イメージのリストア.....	11
ハード・ディスク・イメージの再インストール.....	12
TLA アプリケーション・ソフトウェアのインストール.....	14
ファームウェアのアップグレードとリストア.....	17
付録 A: ユーザ・サービス手順.....	19
取り扱い上の注意.....	19
自己校正.....	19
予防保全.....	19
問題が発生した場合.....	21
輸送用の梱包.....	24
付録 B: アクセサリとオプション.....	25
スタンダード・アクセサリ.....	25
オプション・アクセサリ.....	25
オプション.....	26
索引	

図のリスト

図 i: TLA5000B シリーズ・ロジック・アナライザ	vii
図 1: グランド接続の位置	2
図 2: アクセサリ接続	3
図 3: P64xx 型ロジック・アナライザ・プローブの接続	5
図 4: 電源コード・コネクタの位置	6
図 5: ロジック・アナライザ前面パネル	9

表のリスト

表 i: 関連マニュアル	viii
表 1: アクセサリの接続情報	4
表 2: TLA ユーザ・ファイルのサフィックス	12
表 3: CD からソフトウェアを再インストールする BIOS Boot 設定	13
表 4: エラーの兆候と考えられる原因	23

安全にご使用いただくために

人体への損傷を避け、本製品や本製品に接続されている製品への損傷を防止するために、次の安全性に関する注意をよくお読みください。

安全にご使用いただくために、本製品の指示に従ってください。

資格のあるサービス担当者以外は、保守点検手順を実行しないでください。

本製品をご使用の際に、規模の大きなシステムの他の製品にアクセスしなければならない場合があります。システムの操作に関する警告や注意事項については、他製品のコンポーネントのマニュアルにある安全に関するセクションをお読みください。

火災や人体への損傷を避けるには

適切な電源コードを使用してください。 本製品用に指定され、使用される国で認定された電源コードのみを使用してください。

接続と切断は正しく行ってください。 プローブと検査リードは、電圧ソースに接続されている間は接続または切断しないでください。

本製品を接地してください。 本製品は、電源コードのグランド線を使用して接地します。感電を避けるため、グランド線をアースに接続する必要があります。本製品の入出力端子に接続する前に、製品が正しく接地されていることを確認してください。

すべての端子の定格に従ってください。 火災や感電の危険を避けるために、本製品のすべての定格とマーキングに従ってください。本製品に電源を接続する前に、定格の詳細について、製品マニュアルを参照してください。

入力は、メイン、カテゴリ II、III、および IV 回路に対しては、定格化されていません。

プローブの基準リードは、グランドにのみ接続してください。

電源を切断してください。 電源コードにより、電源から製品を切断します。電源コードをさえぎらないでください。このコードは常にユーザが操作可能であることが必要です。

カバーを外した状態で動作させないでください。 カバーやパネルを外した状態で本製品を動作させないでください。

障害の疑いがあるときは動作させないでください。 本製品に損傷の疑いがある場合、資格のあるサービス担当者に検査してもらってください。

回路の露出を避けてください。 電源がオンのときに、露出した接続部分やコンポーネントに触れないでください。

適切なヒューズを使用してください。 本製品用に指定されたタイプおよび定格のヒューズのみを使用してください。

湿気の多いところでは動作させないでください。

爆発しやすい環境では動作させないでください。

製品の表面を清潔で乾燥した状態に保ってください。

適切に通気してください。適切な通気が得られるような製品の設置方法の詳細については、マニュアルの設置方法を参照してください。

本マニュアル内の用語

本マニュアルでは、次の用語を使用します。



警告: 「警告」では、怪我や死亡の原因となる状態や行為を示します。



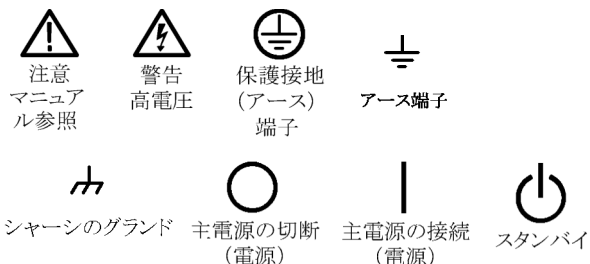
注意: 「注意」では、本製品やその他の資産に損害を与える状態や行為を示します。

本製品に関する記号と用語

本製品では、次の用語を使用します。

- 「危険」マークが表示されている場合、怪我をする危険が切迫していることを示します。
- 「警告」マークが表示されている場合、怪我をする可能性があることを示します。
- 「注意」マークが表示されている場合、本製品を含む資産に損害が生じる可能性があることを示します。

本製品では、次の記号を使用します。



安全に保守点検していただくために

資格のあるサービス担当者のみが、保守点検手順を実行する必要があります。保守点検手順を実行する前に、この『安全に保守点検していただくために』と『安全にご使用いただくために』をお読みください。

一人だけで保守点検しないでください。応急処置と救急蘇生ができる人の介在がないかぎり、本製品の内部点検や調整を行わないでください。

電源を切断してください。感電を避けるため、機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

電源オン時の保守点検には十分注意してください。本製品には、危険な電圧や電流が存在している可能性があります。保護パネルの取り外し、はんだ付け、コンポーネントの交換をする前に、電源の切断、バッテリーの取り外し(可能な場合)、試験導線の切断を行ってください。

感電を避けるため、露出している接続部には触れないでください。

環境条件について

このセクションでは、製品の環境に対する影響について説明します。

製品の廃棄方法

機器またはコンポーネントをリサイクルするには、次のガイドラインを順守してください。

機器のリサイクルこの機器を生産する際には、天然資源が使用されています。この製品には、環境または人体に有害な可能性がある物質が含まれているため、製品を廃棄するには適切に処理する必要があります。有害物質の放出を防ぎ、天然資源の使用を減らすため、機材の大部分を再利用またはリサイクルできるように本製品を正しくリサイクルしてください。

下に示すシンボルは、この製品が WEEE Directive 2002/96/EC（廃棄電気・電子機器に関する指令）に基づく EU の諸要件に準拠していることを示しています。リサイクル方法については、Tektronix のホームページ (www.tektronix.com) のサポート/サービスの項目を参照してください。



水銀に関するお知らせこの製品に使用されている LCD バックライト・ランプには、水銀が含まれています。廃棄にあたっては、環境への配慮が必要です。廃棄およびリサイクルに関しては、お住まいの地域の役所等にお尋ねください。

有害物質に関する規制

この製品は Monitoring and Control（監視および制御）装置に分類され、2002/95/EC RoHS Directive（電気・電子機器含有特定危険物質使用制限指令）の範囲外です。この製品には、鉛、カドミウム、水銀、および六価クロムが含まれています。

まえがき

このマニュアルでは、当社ロジック・アナライザと関連するアクセサリをインストールする際に必要なすべての情報について説明します。

人体への危害や機器のダメージを防ぐために、保守点検を行う前に次の要件を確認してください。

- このマニュアルで説明する手順は、資格のあるサービス担当者のみで行う必要があります。
- このマニュアルの最初に記載されている「安全にご使用いただくために」と「安全に保守点検していただくために」をお読みください。

このマニュアルの警告、注意、および注に必ず従ってください。

TLA5000B シリーズ・ロジック・アナライザ

TLA5000B シリーズ・ロジック・アナライザは、チャンネル幅が異なる複数のポータブル・ロジック・アナライザ・メインフレームと、アナライザで使用するすべてのアクセサリおよびサポート情報で構成されています。このロジック・アナライザには Microsoft Windows が組み込まれているため、PC 互換のサードパーティ製ハードウェア/ソフトウェアをインストールすることができます。

この機器はネットワーク環境で動作するため、Microsoft は次のことを推奨しています。

- インターネット・ファイアウォールの使用
- オペレーティング・システムの更新の定期的なインストール
- 最新のアンチウイルス・ソフトウェアの使用

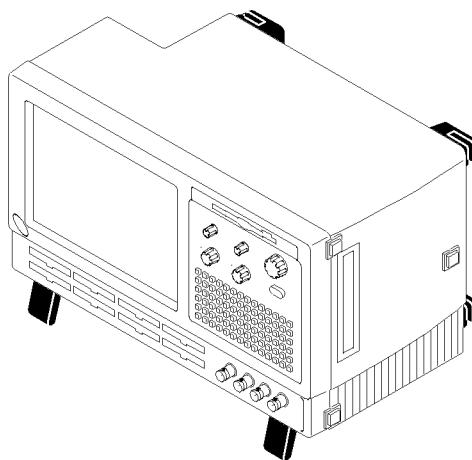


図 i: TLA5000B シリーズ・ロジック・アナライザ

マニュアル

ロジック・アナライザに関して入手可能な関連マニュアルの一覧を、次の表に示します。各マニュアルは、TLA マニュアル CD および Tektronix ホームページ (www.Tektronix.com) で入手できます。

表 i: 関連マニュアル

アイテム	目的	場所
TLA クイック・スタート・ユーザ・マニュアル	操作の概要	 
オンライン・ヘルプ	操作およびユーザ・インタフェースの詳細なヘルプ	
インストール・クイック・リファレンス・カード	インストール情報	 
インストール・マニュアル	初回のインストールの詳細な情報	 
ロジック・アナライザのすべて	ロジック・アナライザの基本の概要	
TLA 製品仕様	TLA 製品仕様の完全なリスト	
TPI.NET マニュアル	.NET を使用したロジック・アナライザ制御に関する詳細な情報	
フィールド・アップグレード・キット	ロジック・アナライザ製品のアップグレード情報	 
オプション・サービス・マニュアル	モジュールおよびメインフレームのセルフサービス・マニュアル	 

基本的なインストール

この章では、当社ロジック・アナライザと関連のアクセサリをインストールするために必要なすべてのステップについて説明します。

付属品リストのチェック

付属品リストを使用してロジック・アナライザのすべての部品を受け取ったことをチェックします。さらに次のことをチェックします。

- 設置地域の規格に合った電源コードがあること。
- インストールされているソフトウェアのバックアップ・コピーがあること。保守を行う場合にソフトウェアを簡単に取り出すことができる安全な場所にバックアップ・ソフトウェアを保管します。
- 注文したすべてのスタンダード・アクセサリとオプション・アクセサリがあること。

このマニュアルと同梱されているお客様登録カードに記入して返送します。

環境条件について

ロジック・アナライザの取り付けを行う前に、このセクションをお読みください。このセクションでは、ロジック・アナライザの設置場所の検討、電源の要件、およびグランド接続について説明します。



注意： 適切に冷却されるように機器の上部、背面、および周囲に 5.1 cm (2 インチ) のスペースを確保します。適切なスペースがないと、機器が過熱してシャット・ダウンする可能性があります。

ロジック・アナライザは、底面の脚を下にした正常位置で、ベンチまたは台車に乗せて使用します。

シャーシのグランド接続

シャーシのグランド接続端子を使用して、ターゲット・システム(テスト中のシステム)のグランドをロジック・アナライザに接続し、機器間に共通のグランド接続を確保します。(図 1 参照)。

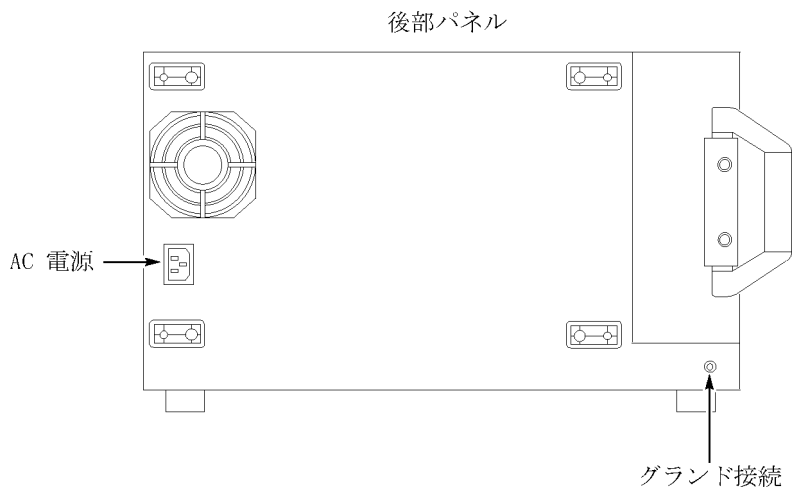


図 1: グランド接続の位置

アクセサリの接続

メインフレームをインストールしてから、外部モニタ、キーボード、プリンタなどのアクセサリを接続します。アクセサリを機器の側面に接続します。モデルによって、コネクタの数および位置が異なる場合があります。(図 2 参照)。

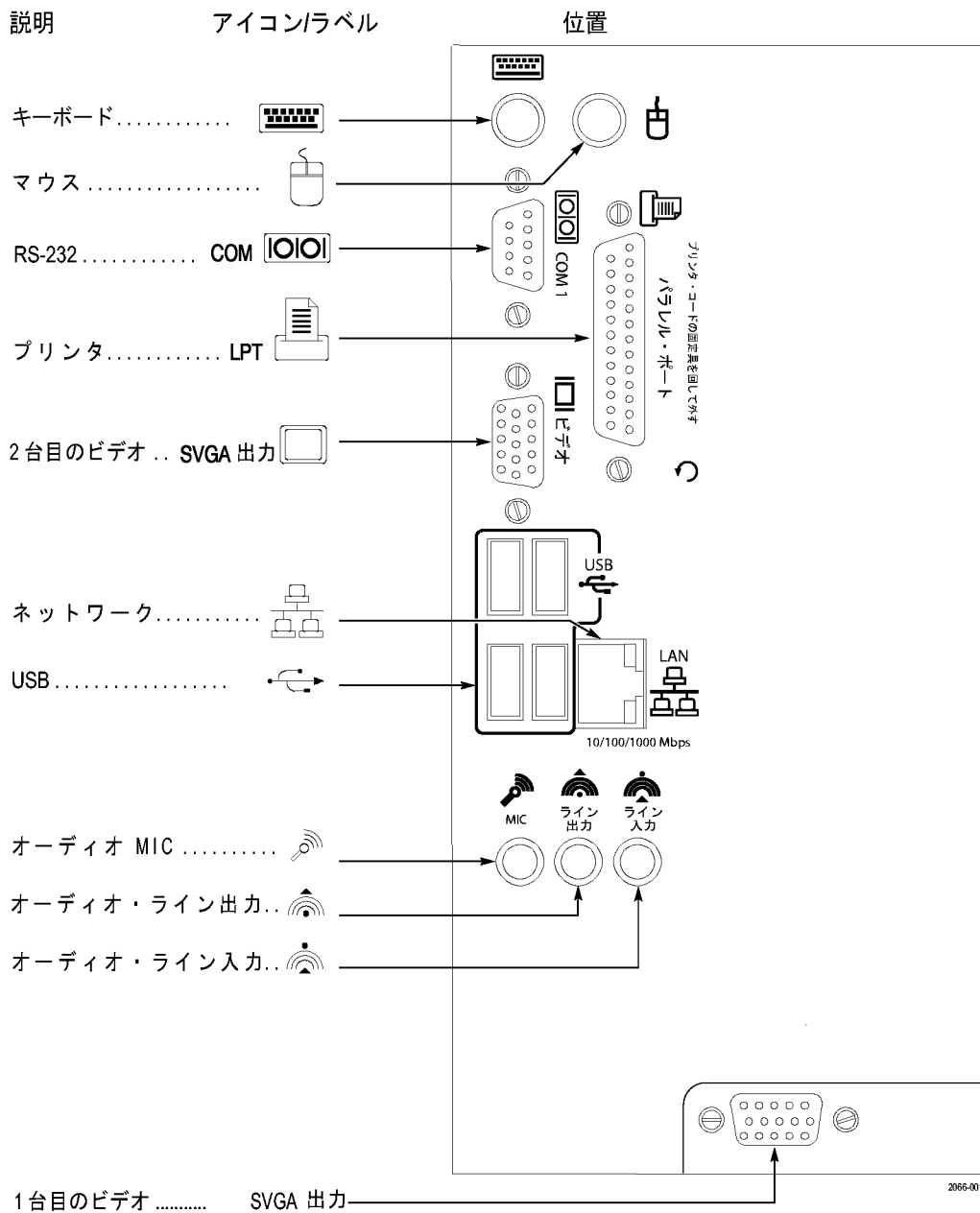


図 2: アクセサリ接続

表 1: アクセサリの接続情報

アイテム	説明
モニタ	プラグ・アンド・プレイに対応していないモニタを使用する場合は、最適な解像度を得るために、Windows 画面設定を変更する必要があります。
プリンタ	プリンタを LPT (パラレル)ポートに接続します。
ラックマウント	ロジック・アナライザはラックマウント・キット内に取り付けることができます。取り付けに関する情報については、各ラックマウント・キットのインストールを参照してください。

プローブの接続

すべてのアクセサリを接続してから、プローブを機器に接続します。使用する機器に対応する適切なセクションを参照してください。

個々のプローブの詳細については、プローブに付属のインストールを参照してください。



注意: プローブをロジック・アナライザに接続するときには、プローブのネジが固定されるまで注意してネジを均等に締めてください。初めにネジを軽く締め、次に各ネジを 4 in-lbs (最大) のトルクで締めます。プローブのネジを緩めると処理性能が断続的に低下する可能性があります。ネジを締めすぎると、ネジ山が潰れる原因になります。

次に示すようにロジック・アナライザのプローブとオプションの固定ブラケットを接続します。(図 3 参照)。

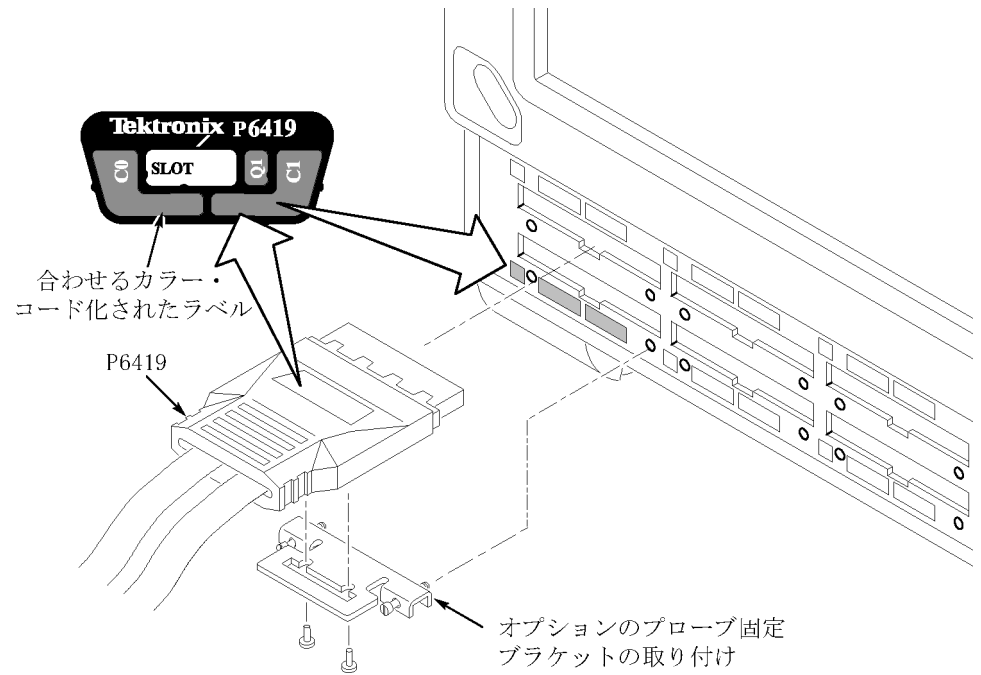


図 3: P64xx 型ロジック・アナライザ・プローブの接続

初めての操作



注意: ロジック・アナライザの電源をオンにする前に、キーボード、マウス、およびアクセサリを接続してください。ロジック・アナライザの電源をオンにした後にアクセサリを接続すると、アクセサリが損傷する可能性があります。

ロジック・アナライザの電源を初めてオンにする場合は、次のステップを実行します。

1. 電源コードを接続します。(図 4 参照)。
2. 外部モニタを使用する場合は、電源コードを接続して、モニタの電源をオンにします。

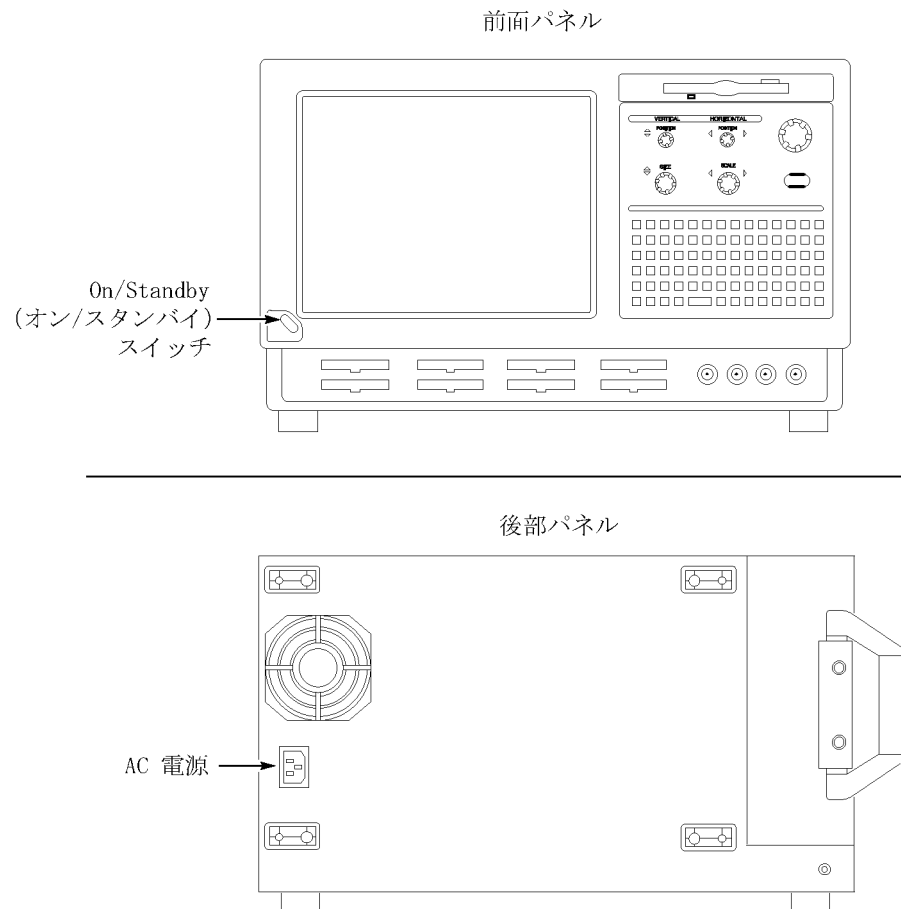


図 4: 電源コード・コネクタの位置

3. 次のようにロジック・アナライザの電源をオンにします。
 - a. 機器の前面にある On/Standby (オン/スタンバイ) スイッチを押して、ロジック・アナライザの電源をオンにします。(図 4 参照)。
 - b. ロジック・アナライザの起動時セルフテストが完了し、Windows が起動するまで待ちます。

受入検査の実行

受入検査では、ロジック・アナライザの基本的な動作を確認します。起動時のセルフテストで基本的な機能をチェックします。起動時のセルフテストは、ロジック・アナライザの電源をオンにするたびに実行されます。

自己校正と拡張診断を実行することによって、より詳細な機能を確認することもできます。

注: 自己校正を実行する前に、メインフレームを 30 分間ウォーム・アップします。

自己校正と診断を実行するには、次のステップを実行します。

1. 入力コネクタに接続されているプローブを取り外します。
2. System (システム) メニューから、Calibration and Diagnostics (校正および診断) を選択します。
3. 自己校正を実行し、適切なタブを選択して拡張診断を実行します。テスト結果は、それぞれのプロパティ・ページに表示されます。

P64xx 型ロジック・アナライザ・プローブのチェック (オプション)

P64xx 型ロジック・アナライザのプローブを信号ソースに接続して、アクイジションを開始し、取り込まれたデータがリストまたは波形ウィンドウに表示されることを確認します。ロジック・アナライザの Setup (セットアップ) ウィンドウでアクティビティ・インジケータを使用して、プローブ・チップでの信号アクティビティを表示することもできます。

注: A2 グループおよび A3 グループ以外のチャンネルにプローブを接続する場合は、他のプローブ・チャンネルでデータを取り込む前に、Setup (セットアップ) ウィンドウでグループおよびチャンネルを定義する必要があります。

ユーザ・ファイルのバックアップ

定期的にユーザ・ファイルをバックアップしてください。Windows のバックアップ・ツールを使用するか、ユーザ・ファイルを別のメディアにコピーします。定期的にアクセスするファイルのバックアップ・コピーを常に保管しておいてください。

ターゲット・システムへのプローブの接続

ロジック・アナライザをプローブを介してターゲット・システムに接続します。ロジック・アナライザのプローブを使用すると、ターゲット・システムにいくつかの方法で接続できます。プローブに固有な接続方法の詳細については、

適切なプローブのインストラクション・マニュアルまたは当社ホームページを参照してください。

追加情報

ロジック・アナライザの使用に関する詳細情報については、TLA のオンライン・ヘルプを参照してください。

リリース・ノート。ロジック・アナライザのリリース・ノートにアクセスするには、Start (スタート) → Programs (プログラム) → Tektronix Logic Analyzer (Tektronix ロジック・アナライザ) → TLA Release Notes (TLA リリース・ノート) を選択します。

製品の概要

この章では、ロジック・アナライザのコントロールとコネクタについて簡単に説明します。ロジック・アナライザの操作方法の詳細については、オンライン・ヘルプを参照してください。

前面パネル・コントロール

前面パネル・コントロールを使用して、ロジック・アナライザを操作することができます。外部のキーボード、モニタ、およびマウスを接続して、ロジック・アナライザを操作することもできます。

外部キーボードの代わりに前面パネルのキーを使用することができます。前面パネルを使用して、ほとんどのキーおよびキーの組み合わせを使用できます。(図 5 参照)。

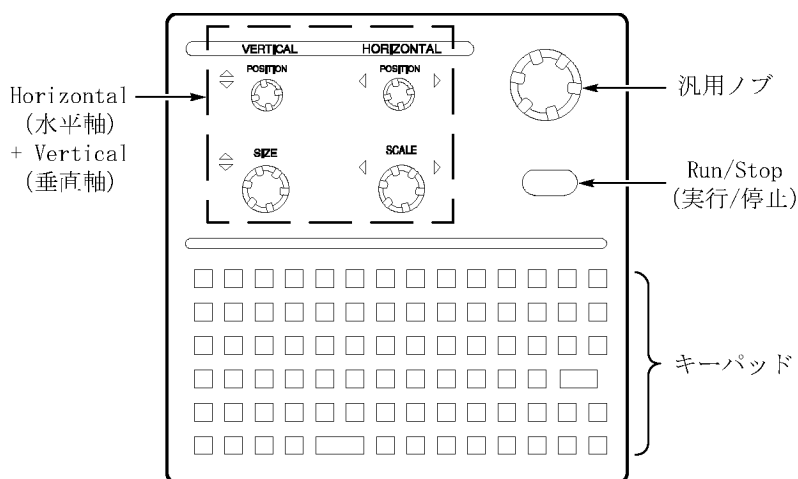


図 5: ロジック・アナライザ前面パネル

外部コネクタ

外部アクセサリを接続するには、ロジック・アナライザの後部パネルにある外部コネクタを使用します。(3 ページの表 図 2 参照)。

ロジック・アナライザと他の機器の間で信号を送信するには、前面パネルの 4 つの BNC コネクタを使用します。たとえば、ロジック・アナライザをオシロスコープに接続するには、iView ケーブルを使用します。

ソフトウェアのリストアとインストール

ロジック・アナライザの大部分のソフトウェアは出荷時にインストール済みです。ソフトウェアを再インストールする必要がある場合は、このセクションを参照してください。このインストラクションは、アプリケーション・ソフトウェアとオペレーティング・システムを再インストールする場合にのみ参照してください。このセクションでは、リモート操作またはオフライン・アプリケーションに関連するロジック・アナライザ・ソフトウェアを PC にインストールする方法についても説明します。

注: リモート PC にソフトウェアをインストールまたは再インストールする場合は、そのソフトウェアのバージョンがロジック・アナライザのメイン・アプリケーションのバージョンと一致することを確認してください。

ハード・ディスク・イメージのリストア



注意: リカバリ・メディアを使用してソフトウェアのインストール手順を実行すると、ハード・ディスクの内容全体が上書きされます。ハード・ディスクのファイルまたはソフトウェア・アプリケーションを保存するには、これらを別のメディアにバックアップしてから、この手順を実行してください。

コントローラ BIOS のセッ トアップ

この手順は、ハード・ディスクを交換した後、または BIOS 設定が破損したり失われた場合に実行する必要があります。コントローラ BIOS を設定するには、次のステップを実行します。

1. ロジック・アナライザの電源をオンにし、Windows オペレーティング・システムが起動する前に F2 キーを押します。
2. F9 キーを押し、Yes (はい) を選択して Enter キーを押し、すべての設定をデフォルト値に設定します。ハード・ディスクが自動的に認識され、Primary Master (プライマリ・マスタ) 設定にハード・ディスクのサイズが正しく表示されることを確認します。
3. 矢印キーを使用して Advanced (拡張) ページに移動します。
4. Peripheral Configuration (周辺機器設定) で、次のステップを実行します。
 - a. Parallel Port Mode (パラレル・ポート・モード) を ECP (ECP) に設定します。
 - b. Audio (オーディオ) を Disabled (無効) に設定します。
5. Diskette Configuration (フロッピー・ディスク設定) で、Diskette Controller (フロッピー・ディスク・コントローラ) を Disabled (無効) に設定します。
6. Video Configuration (ビデオ設定) で、Primary Video Adapter (プライマリ・ビデオ・アダプタ) を PCI (PCI) に設定します。
7. F10 キーを押して終了し、BIOS の設定を保存します。

ハード・ディスク・イメージの再インストール

当社ロジック・アナライザに付属のリカバリ・メディアには、Microsoft Windows と最新のアプリケーション・ソフトウェアが収録されています。この中に含まれているのは、ロジック・アナライザを使用するために必要なソフトウェアだけです。マイクロプロセッサ・サポート・パッケージや、ロジック・アナライザ以外のアプリケーション・ソフトウェアは含まれていません。ハード・ディスクにこれらのソフトウェアを再ロードすると、ハード・ディスクにインストールされているファイルまたはプログラムがすべて消去されます。



注意: ハード・ディスクの内容全体が失われるのを防ぐために、すべてのファイルまたはアプリケーションを別のメディアにバックアップしてから、この手順を継続してください。

ファイルのバックアップ

リカバリ・メディアをロードする前に、すべてのファイル（個人のドキュメント・ファイルを含む）を外部ストレージ・デバイスにバックアップしてあることを確認してください。

Windows Search（検索）ユーティリティを使用すると、大部分の TLA ユーザ・ファイルを見つけることができます。ファイル・サフィックスを使用して、現在のフォルダとすべてのサブフォルダ内のファイルを検索します。（表 2 参照）。機器にインストールされているファイルに応じて、他のファイル・サフィックスを検索することもできます。

表 2: TLA ユーザ・ファイルのサフィックス

サフィックス	説明
.tla	TLA セットアップ・ファイル
.tsf	TLA シンボル・ファイル
.tbf	Tektronix バイナリ・フォーマット
.tls	TLA スクリプト・ファイル
.tpg	Tektronix パターン・ゼネレータ・ファイル
.txt	Tektronix TLA データ交換フォーマット・ファイル
.stk	スタック・ファイル
.spz	プロトコル・ファイル

ファイルが見つかったら、外部ストレージ・デバイスにコピーします。

何らかのマイクロプロセッサ・サポート・パッケージを購入している場合は、ハード・ディスク・イメージを再インストールした後で、そのソフトウェアを再インストールする必要があります。マイクロプロセッサ・サポート・ソフトウェアのコピーを保存していない場合は、当社担当営業にお問い合わせいただき、交換用のコピーを入手してください。当社担当営業に連絡できない場合は、当社

サービス受付センターに連絡してください(このマニュアルの最初に掲載されている「Tektronix 連絡先」を参照してください)。

注: Microsoft Windows とその他のソフトウェアを再インストールする場合は、必ず付属のリカバリ・メディアをご使用ください。これらのソフトウェア・アプリケーションは使用許諾ソフトウェア製品であるため、これ以外の方法で再インストールするとライセンス契約書に違反します。

オペレーティング・システムと TLA アプリケーション・ソフトウェアのインストール

この手順を実行すると、ハード・ディスク・ドライブ上のすべてのデータが新しい製品ソフトウェア・イメージで上書きされます。この手順ではハード・ディスク・ドライブが再フォーマットされるため、前のセクションで説明したステップに従って、保存するファイルまたはアプリケーションを必ずバックアップしてください。



注意: ハード・ディスク・ドライブ上のユーザ・ファイルが失われるのを防ぐために、ユーザ・ファイルをバックアップしてから作業を進めてください。

BIOS Boot (BIOS ブート) 設定を変更します。 ハード・ディスク・ドライブをリストアする前に、メディアからロジック・アナライザを起動できるように、BIOS 設定を変更する必要があります。

1. ロジック・アナライザを再起動し、F2 キーを押して BIOS セットアップに入ります。
2. BIOS セットアップで、Boot (ブート) メニューに移動します。
3. 機器の Boot デバイスを設定します。(表 3 参照)。スクリーンの指示に従って設定を変更します。

表 3: CD からソフトウェアを再インストールする BIOS Boot 設定

機器の設定	設定
TLA5000B シリーズ	最初の Boot デバイス: [ATAPI CDROM Drive]
	2 番目の Boot デバイス: [Floppy]
	3 番目の Boot デバイス: [IDE-HDD]

4. 設定を保存するために F10 キーを押し、新しい設定を保存することを確認します。

リカバリ・メディアをロードします。 リカバリ・メディアをロードするには、次の手順を実行します。

1. CDドライブにリカバリ・メディアを挿入します。
2. ロジック・アナライザを再起動して、スクリーンの指示に従います。この手順で、ロジック・アナライザ・アプリケーションが自動的にインストールされセットアップされます。
3. イメージをロードした後で、リカバリ・メディアを取り外し、ロジック・アナライザを再起動します。
4. "Systems Settings Change" エラー・メッセージが表示され、変更を有効にするために機器の再起動が求められます。Yes (はい) をクリックし、機器を再起動します。
5. 前にバックアップしたすべてのユーザ・ファイルを再インストールします。マイクロプロセッサ・サポート・ソフトウェアなど、他のソフトウェアを再インストールします。
6. 必要に応じ、TLA ネットワーク・インタフェースを再設定します。

TLA アプリケーション・ソフトウェアのインストール

TLA アプリケーション・ソフトウェアは、機器の工場出荷時にインストールされます。TLA アプリケーション・ソフトウェアには、ロジック・アナライザをリモート PC からプログラムによって制御できる TPI クライアント・ソフトウェアが含まれています。次の手順を実行して、TLA アプリケーション・ソフトウェアの最新バージョンをロジック・アナライザに再インストールするか、リモートまたはオフラインで操作するためのソフトウェアを PC にインストールします。アプリケーション・ソフトウェアの問題を修復するために、最初にこれらのステップを実行します。これらのステップを完了しても、ソフトウェアに問題が発生する場合は、ハード・ディスク・ソフトウェアのリストアが必要になることがあります。(11 ページ「ハード・ディスク・イメージのリストア」参照)。

ロジック・アナライザへの TLA アプリケーション・ソフトウェアのインストール

ロジック・アナライザでこれらの手順を実行する場合、管理者としてログオンする必要があります。ロジック・アナライザは、管理者 (パスワードなし) としてログオンするように自動的に初期設定されるため、ログイン画面は表示されません。機器のネットワーク設定が変更されている場合は、管理者または管理者特権を持つユーザとしてログオンしていることを確認します。管理者としてログオンしないと、ソフトウェアのアップグレードが正常に完了しない可能性があります。

1. 管理者として機器にログオンし、すべてのアプリケーションを終了します。
2. CDドライブに TLA アプリケーション・ソフトウェア CD を挿入します。
3. インストール・ソフトウェアが自動的に起動されない場合は、CD の TLA アプリケーション・ソフトウェア・フォルダを参照して、Setup.exe プログラムを実行します。
4. スクリーンの指示に従います。

ハード・ディスクに古いバージョンのソフトウェアがある場合は、インストール・プログラムがそのバージョンを検出し、削除するかどうかをたずねます。スクリーンの指示に従ってすべてのメッセージで Yes (はい) を選択し、ソフトウェアを削除します。再起動を求めるメッセージが表示されたら機器を再起動します。ステップ 3 を繰り返して、ソフトウェアを再インストールします。

PC への TLA アプリケーション・ソフトウェアのインストール

次の目的で、PC に TLA アプリケーション・ソフトウェアをインストールできます。

- オフライン・モードでの TLA アプリケーション・ソフトウェアの実行
- ネットワーク上の同じ TLA アプリケーション・ソフトウェアを使用したロジック・アナライザの制御

サードパーティ・ソフトウェア PC 上で TLA アプリケーション・ソフトウェアの機能をすべて使用するには、サードパーティ・ソフトウェアを追加でインストールする必要があります。TLA アプリケーション・ソフトウェア CD V5.0 以上では、次のサードパーティ・ソフトウェアを使用できます。

- NI-GPIB-USB ソフトウェアを使用すると、PC で iView ソフトウェアを使用できます。
- SnagIt ソフトウェアは、ロジック・アナライザ・データのスクリーン・ショットをコピーして他のアプリケーションで使用する場合に便利です。

注: ロジック・アナライザで使用できる複数のサードパーティ・ソフトウェア・アプリケーションが含まれています。これらのアプリケーションには、ソフトウェア・ライセンス契約が含まれている場合もあります。必ずそのライセンス契約に従ってください。

NI-GPIB ソフトウェアをインストールします。 PC にサードパーティ・ソフトウェアをインストールするには、次のステップを実行します。

1. CDドライブに最初の TLA アプリケーション・ソフトウェア CD を挿入します。
2. CD の NI-GPIB-USB フォルダを参照して、Setup.exe プログラムを実行します。
3. 次の項目に注意して、スクリーンの指示に従ってください。
 - プロンプトが表示されたら、Typical (通常) インストール・オプションを選択します。
 - Add GPIB ウィザードが表示されたら、GPIB-USB-B を選択します。
 - 機器を再起動すると、NI-488.2 Getting Started ウィザードが表示されます。オプションで、Do not show at Windows startup (Windows の起動時に表示しない) を選択します。
 - iView ケーブルを初めて接続する場合、機器によって新しいハードウェアが検出されます。Install the software automatically (Recommended) (ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)) を選択します。

SnagIt ソフトウェアをインストールします。 PC に SnagIt ソフトウェアをインストールするには、次のステップを実行します。

1. CD の SnagIt フォルダを参照して、Setup.exe プログラムを実行します。
2. スクリーンの指示に従います。

TLA アプリケーション・ソフトウェアをインストールします。 CD の TLA アプリケーション・ソフトウェア・フォルダを参照して、Setup.exe プログラムを実行します。スクリーンの指示に従って、TLA アプリケーション・ソフトウェアをインストールします。

ハード・ディスクに古いバージョンのソフトウェアがある場合は、インストール・プログラムがそのバージョンを検出し、削除するかどうかをたずねます。スクリーンの指示に従ってすべてのメッセージで Yes (はい) を選択し、ソフトウェアを削除します。プロンプトが表示されたら機器を再起動して、Setup.exe を再実行します。

TLA アプリケーションを起動します。 リモート操作を行う PC に TLA アプリケーションをインストールした場合は、TLA Application (TLA アプリケーション) アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。TLA Connection (TLA の接続) ダイアログ・ボックスが表示されます。

1. TLA Connection (TLA の接続) ダイアログ・ボックスで機器を選択して、Connect (接続) をクリックします。機器をネットワークに接続する場合、ローカル・ネットワーク上の任意の未使用機器に接続できます。
2. TLA アプリケーション・ソフトウェアのオフライン・バージョンを起動するには、Offline (オフライン) をクリックします。TLA オフライン・ソフトウェアを使用すると、機器に接続せずに TLA アプリケーションを実行できます。機器に接続しなくても、以前にロジック・アナライザから取り込まれたデータを分析して、リファレンス・メモリを作成または変更することや、システム・テストを実行することができます。

ファームウェアのアップグレードとリストア

ロジック・アナライザのファームウェアのバージョンが現在の TLA アプリケーション・ソフトウェアのバージョンと互換性がない場合、これらのファームウェアのアップグレードが必要になることがあります。TLA アプリケーション・ソフトウェアの最新のファームウェアは、ロジック・アナライザのハード・ディスクにあるファイルに格納されています。

1. ロジック・アナライザ・アプリケーションを終了します。
2. Start (スタート) → Programs (プログラム) → Tektronix Logic Analyzer (Tektronix ロジック・アナライザ) → TLA Firmware Loader (TLA ファームウェア・ローダ) の順にクリックします。TLA Connection (TLA の接続) ダイアログ・ボックスが表示されたら、機器を選択し、Connect (接続) ボタンをクリックします。
3. ウィンドウ上部の Supported (サポート) リスト・ボックスからモジュールを選択します。
4. Execute (実行する) メニューから Load Firmware (ファームウェアのロード) を選択します。
5. TLA520x.lod ファイルをクリックします。
6. OK をクリックします。操作を確認するメッセージが表示されたら、Yes (はい) をクリックします。
7. 機器の背面に大きいラベルを貼り付けます。
8. このラベルにファームウェアのバージョンを記入します。ファームウェアのバージョンがラベルと一致することを確認する場合に、この情報が必要になります。
9. 機器の電源をオンにします。
10. ロジック・アナライザの電源オン診断が完了したら、System (システム) メニューから System Properties (システム・プロパティ) を選択します。
11. LA1 タブをクリックします。
12. ファームウェアのバージョンが、先ほど書きとめた、ラベルのバージョンと一致することを確認します。
13. ファームウェアのバージョンが一致しない場合、機器背面のラベルを変更します。

付録 A: ユーザ・サービス手順

この付録では、当社ロジック・アナライザの保守点検に関する情報と手順の概要について説明します。その他のトラブルシューティング手順については、サービス・マニュアルを参照してください。

取り扱い上の注意

機器は、厳しい気候条件から保護する必要があります。この機器は防水加工されていません。

LCD ディスプレイに直射日光が当たる場所に長時間機器を保管または放置しないでください。



注意: スプレーや液体、溶剤に接触させないでください。機器が損傷する可能性があります。

自己校正

機器の自己校正手順を実行するには、Self Calibration (自己校正) プロパティ・ページを使用します。修理の後にはこれらの手順を実行する必要があります。これらの手順は、少なくとも年に 1 回行ってください。

自己校正を行う前に、30 分間のウォーム・アップを行ってください。

自己校正手順を実行するには、次のステップを実行します。

1. System (システム) メニューから、Calibration and Diagnostics (校正および診断) を選択します。
2. Self Calibration (自己校正) タブをクリックします。
3. 校正する機器を選択します。
4. Run (実行) ボタンをクリックします。

予防保全

年に一度、電気的な性能をチェックし、機器の精度を検証 (校正) する必要があります。この作業は、認定サービス担当者が、当社ロジック・アナライザ製品の適切なサービス・マニュアルの手順に従って実施する必要があります。

予防保全は、主に定期的なクリーニングによって実現されます。定期的なクリーニングすることにより、機器が故障しにくくなり、信頼性が高まります。動作環境に基づき、必要に応じて機器をクリーニングしてください。コンピュータ室のような条件に比べると、汚れた条件下ではより頻繁にクリーニングする必要があります。

フラットパネル・ディスプレイのクリーニング

LCD フラットパネルは柔らかいプラスチック製のディスプレイなので、クリーニング時の取り扱いには注意する必要があります。



注意: 不適切な洗浄剤または洗浄方法を使用すると、フラットパネル・ディスプレイが損傷する可能性があります。

ディスプレイの表面のクリーニングに、研磨剤または市販のガラス用洗剤を使用しないでください。

液体をディスプレイの表面に直接吹き付けしないでください。

ディスプレイを磨くときは、力を入れすぎないでください。

ディスプレイのクリーニング時に機器の内部が湿らないように、ティッシュが湿る程度の量の溶剤のみを使用してください。

フラットパネル・ディスプレイの表面をクリーニングする場合は、クリーニング用ティッシュ (KimberlyClark 社製の Wypall Medium Duty Wipes#05701 など) でディスプレイをやさしくふいてください。

ディスプレイの汚れがひどい場合は、蒸留水または 75% のイソプロピル・アルコール溶剤でティッシュを湿らせ、ディスプレイの表面をやさしくふきます。力を入れすぎないように注意してください。プラスチック製のディスプレイの表面を傷つける可能性があります。

外部表面

外部表面のクリーニングは、乾いた柔らかい布か柔らかい毛ブラシで行ってください。汚れが落ちない場合は、75% のイソプロピル・アルコール溶剤をしみこませた布または綿棒を使用してください。コントロールやコネクタ周囲の狭い箇所のクリーニングには綿棒が役立ちます。機器のどの部分にも研磨剤を使用しないでください。



注意: 機器の損傷を防ぐため、これらの注意事項に従ってください。

外部のクリーニング時に機器の内部が湿らないように、布または綿棒が湿る程度の量の溶剤のみを使用してください。

前面パネルの On/Standby (オン/スタンバイ) スイッチを水拭きしないでください。機器を水拭きする場合は、スイッチを覆ってください。

クリーニング時には、純水だけを使用してください。洗浄剤として 75% のイソプロピル・アルコール溶剤を使用し、純水で洗い流してください。

化学薬品の洗浄剤を使用しないでください。機器を損傷する恐れがあります。ベンゼン、トルエン、キシレン、アセトンまたはこれに類似する溶剤を含有する洗浄剤を使用しないでください。

フロッピー・ディスク・ドライブ

フロッピー・ディスク・ドライブを最も効率よく動作させるには定期的に保守を行う必要があります。記録面に汚れや塵が溜まるとディスクが損傷する可能性があります。損傷を防ぐため、ディスクは、塵や汚れが付かない保護容器に入れてください。また、ディスク・ドライブ・ヘッドも定期的にクリーニングする必要があります。

定期的な保守には、3.5 インチ・フロッピー・ディスク・ヘッド・クリーニング・キットが必要です。定期的な保守は次のように行います。

月に一度、フロッピー・ディスク・ドライブの表面を湿らせた布でクリーニングしてください。



注意: ディスク・ドライブの内部に湿気が入らないようにしてください。電源が入っていると、内部のコンポーネントが損傷する可能性があります。

月に一度、ヘッド・クリーニング・キットに付属しているインストラクションに従ってディスク・ドライブ・ヘッドをクリーニングしてください。

問題が発生した場合

このセクションでは、ロジック・アナライザの設置または使用時に発生する可能性がある問題の解決に役立つ情報を提供します。

診断

ロジック・アナライザは、機器の電源が入るたびに、起動時のセルフテストを実行します。System (システム) メニューから Calibration and Diagnostics (校正および診断) を選択することによって、診断の結果を表示することができます。Extended diagnostics (拡張診断) を選択すると、より詳しい診断を行うことができます。ここですべてのテストを実行したり、1 つ以上のテストをループしたり、エラーが発生するまでテストをループすることができます。

ロジック・アナライザでは次の診断ツールを使用できます。

起動時のセルフテスト。 起動時のセルフテストは、ロジック・アナライザの電源をオンにしたとき、あるいは TLA アプリケーションまたはパターン・ゼネレータ・アプリケーションを起動したときに実行されます。電源をオンにしたときに診断エラーが発生した場合は、Calibration and Diagnostics (校正および診断) プロパティ・ページが表示されます。

拡張診断。 拡張診断は、ロジック・アナライザについての起動時のセルフテストより詳しいテストを行います。拡張診断を使用すると、問題が発生している個々のモジュールを特定することができます。

拡張診断を実行する前に、取り付けられているすべてのプローブを取り外してください。

TLA メインフレームの診断。 TLA メインフレームの診断プログラムは、スタンドアロン・アプリケーションです。これらの診断では、基本的な PC の回路だけ

ではなくメインフレームの動作をチェックします。これらの診断では、機器の前面パネル・ノブもチェックします。

その他の診断ソフトウェア機器にその他の診断ソフトウェアがインストールされ、Windows の Start (スタート) メニューからアクセスできる場合があります。この診断ソフトウェアは、機器によって異なります。機器の問題のトラブルシューティング方法の詳細については、診断ソフトウェアに付属するオンライン・ヘルプを使用するか、お近くの当社代理店に確認してください。

ソフトウェアに関する問題

ロジック・アナライザはほとんどのソフトウェアがインストールされた状態で納品されます。診断を実行する前に、オンライン・リリース・ノートをチェックして、ロジック・アナライザ・ソフトウェアがモジュールのファームウェアと互換性があることを確認してください。

ソフトウェアに関する問題の多くは、ソフトウェア・ファイルの破損または不足が原因になっている可能性があります。ほとんどの場合、ソフトウェアに関する問題を解決するための最も簡単な方法は、ソフトウェアを再インストールして、スクリーンの指示に従うことです。(11 ページ「ソフトウェアのリストアとインストール」参照)。

アプリケーション・ソフトウェアに問題があると思われる場合は、お近くの当社代理店までお問い合わせください。

ハードウェアに関する問題

ロジック・アナライザが正しくインストールされている場合は、System (システム) メニューの下の拡張診断を実行して、問題を識別します。ロジック・アナライザの電源がオンになっていてデスクトップにアクセスできる場合は、機器上で他の診断ソフトウェアを実行し、潜在的な問題を特定してください。

ネットワーク接続の問題

TLA アプリケーション・ソフトウェアのバージョン 5.0 以上を使用すると、PC から機器を制御できるネットワークに機器を接続できます。PC とロジック・アナライザがネットワークに接続されていることを確認します。PC とロジック・アナライザに TLA アプリケーション・ソフトウェアがインストールされている必要があります。ロジック・アナライザで TLA サーバが動作している必要があります。

TLA サーバを起動するには、次のステップを実行します。

1. ロジック・アナライザで、Start (スタート) → Programs (プログラム) → Tektronix Logic Analyzer (Tektronix ロジック・アナライザ) → TLA Server (TLA サーバ) の順にクリックします。赤い丸が付いたアイコンがツール・バーに表示されます。
2. TLA Server (TLA サーバ) アイコンを右クリックして、Start TLA Server (TLA サーバの起動) を選択します。サーバが動作していることを示す赤い丸が消えます。

その他のネットワークの問題に対処するには、システム管理者に確認してください。

一般的な問題のチェック

問題を切り分けるには、次の表を使用します。このリストにはすべての問題が含まれているわけではありませんが、ヒューズ切れなどの簡単な問題の解決に役立つ場合があります。

表 4: エラーの兆候と考えられる原因

兆候	考えられる原因と推奨される対応
機器の電源がオンにならない。	電源ケーブルが機器と電源に接続されていることを確認します。 On/Standby(オン/スタンバイ)スイッチを押したときに機器に電力が供給されることをチェックします。ファンが動作し、前面パネルのインジケータ・ライトが点灯するかをチェックします。 電源から電力が供給されていることをチェックします。 機器エラー: 当社サービス受付センターにお問い合わせください。
外部モニタの電源がオンにならない。	モニタの電源ケーブルの接続をチェックします。ヒューズの損傷をチェックします(存在する場合)。 外部ディスプレイの接続をチェックします。 モニタのエラー: 解決方法についてモニタのベンダにお問い合わせください。
モニタのディスプレイに何も表示されない。	モニタがメインフレームに接続されていることをチェックし、必要な場合はケーブルを交換します。 機器ディスプレイに何も表示されない場合は、外部モニタを接続してみます。どちらのディスプレイにも表示されない場合は、当社サービス受付センターにお問い合わせください。 外部モニタのコントロールの設定値が低い。この場合はモニタの輝度とコントラストのコントロールを調整します。 モニタのコントローラの BIOS セットアップをチェックします。 モニタの障害: 解決方法についてモニタのベンダにお問い合わせください。
機器の電源がオンになっても、起動時シーケンスが完了しない。	機器がハード・ディスク・ドライブから起動していることを確認します。フロッピー・ディスク・ドライブからディスクを取り出します。 考えられるソフトウェアの誤動作またはハード・ディスク・ドライブの破損については、この章の最初にある「ソフトウェアに関する問題」を参照してください。
起動時のセルフテストが失敗する。	機器エラー: 当社サービス受付センターにお問い合わせください。

表 4: エラーの兆候と考えられる原因、(続く)

兆候	考えられる原因と推奨される対応
機器が、モニタ、プリンタ、キーボードなどのアクセサリを認識しない。	アクセサリが適切に接続またはインストールされていることをチェックします。他のスタンダード PC アクセサリを接続してみるか、当社サービス受付センターにお問い合わせください。
Windows が起動しても、TLA アプリケーションは起動しない。	電源がオンになったときに TLA アプリケーションが起動されるように機器が設定されていない。デスクトップにある TLA アイコンをダブルクリックして、デスクトップからアプリケーションを起動します。 ソフトウェアの障害、または破損。アプリケーション・ソフトウェアを再インストールします。
Windows がセーフ・モードで起動される。	セーフ・モードを終了して、機器を再起動します。 ハードウェアおよびハードウェア・ドライバ・ソフトウェアに互換性がない。ハードウェア・ドライバをインストールするか、互換性のないハードウェアを取り外します。
アプリケーションが起動するが、システム・ウィンドウにモジュールが表示されない。	ファームウェアが更新されていない。 機器エラー: 当社サービス受付センターにお問い合わせください。

輸送用の梱包

メインフレームまたはモジュールを修理のために当社サービス受付センターに送る場合は、所有者の名前と住所、シリアル番号、および発生した問題や必要なサービスの説明を示すタグをメインフレームまたはモジュールに貼り付けてください。ユニット全体をテストできるように、必ずモジュールとプローブを同梱してください。

機器を輸送用に梱包する場合は、元の梱包資材を使用してください。元の梱包資材が使用できないか使用に適していない場合は、当社代理店にお問い合わせいただき、新しい梱包資材を入手してください。

付録 B: アクセサリとオプション

スタンダード・アクセサリ

数量	アクセサリ	部品番号
1	TLA ファミリ・アプリケーション・ソフトウェア CD	—
1	TLA5000 リカバリ・メディア	—
1	マウス(オプティカル、ホイール付き、USB)	119-7054-xx
1	キーボード、USB	119-7275-xx
1	アクセサリ・ポーチ	016-1935-xx
1	前面パネル・カバー	200-4651-xx
1	リカバリ・メディア・ライセンス	—
1	Nero OEM Suite 3 ライセンス	—
1	Windows XP Professional ライセンス	—
1	Windows XP Professional Certificate of Authenticity	—
1	CheckIt ユーティリティ・ステッカー	—
1	TLA マウス・パッド	016-1524-xx
1	校正証明書	—
2	固定具付きプローブ固定ブラケット(TLA5201B 型)	407-4435-xx
4	固定具付きプローブ固定ブラケット(TLA5202B 型)	407-4435-xx
6	固定具付きプローブ固定ブラケット(TLA5203B 型)	407-4435-xx
8	固定具付きプローブ固定ブラケット(TLA5204B 型)	407-4435-xx
1	資料パッケージ	001-1366-xx

オプション・アクセサリ

アクセサリ	部品番号
アクセサリ付き 17 チャンネル汎用ロジック・アナライザ・プローブ	P6417 型
P6417 型プローブ交換キット	020-2196-xx
P6417 型 Podlet 交換キット	020-2200-xx
アクセサリ付き 17 チャンネル汎用ロジック・アナライザ・プローブ	P6418 型
P6417/P6418 型プローブ・アクセサリ・キット	020-2198-xx
17 チャンネル、高密度圧縮プローブ	P6419 型
34 チャンネル・プローブ・インタフェース・キット(パレル・コネクタ)	020-2199-xx

アクセサリ	部品番号
34 チャンネル・プローブ・インタフェース・キット(ミニ PV コネクタ)	020-3000-xx
1 チャンネル減衰バイアス電圧リードセット	196-3478-xx
8 チャンネル減衰バイアス電圧リードセット	196-3477-xx
34 チャンネル、高密度 MICTOR プローブ	P6434 型

オプション

オプション	説明	部品番号
1C	iView 外部オシロスコープ・ケーブル・キットの追加	012-1614-xx
7S	235 MHz で 2 M にアキュイジション・レコード長を拡張	—
8S	235 MHz で 8 M にアキュイジション・レコード長を拡張	—
L0	英語版マニュアル	
	TLA5000B インストール・マニュアル	071-2066-xx
	Tektronix Logic Analyzer Quick Start User Manual	071-1575-xx
	TLA5000B ロジック・アナライザ・クイック・リファレンス・インストレーション・カード	071-2067-xx
	Tektronix Logic Analyzer Documentation CD	063-3671-xx
	Windows XP Professional, Multi-Language Instruction Sheet	071-1533-xx
L5	日本語版マニュアル	
	TLA5000B インストール・マニュアル(日本語)	071-2068-xx
	Tektronix ロジック・アナライザ・クイック・スタート・ユーザ・マニュアル(日本語)	071-1746-xx
	TLA5000B ロジック・アナライザ・クイック・リファレンス・インストレーション・カード	071-2067-xx
	Tektronix ロジック・アナライザ・マニュアル CD	063-3671-xx
	Windows XP Professional インストラクション・シート	071-1533-xx

オプション	説明	部品番号
L10	ロシア語版マニュアル	
	TLA5000B インストール・マニュアル	071-2066-xx
	Tektronix Logic Analyzer Quick Start User Manual (ロシア語)	071-1578-xx
	TLA5000B ロジック・アナライザ・クイック・リファレンス・インストレーション・カード	071-1343-xx
	Tektronix Logic Analyzer Documentation CD	063-3671-xx
	Windows XP Professional, Multi-Language Instruction Sheet	071-1533-xx
L99	マニュアルなし	—
A0	北米仕様電源コード	161-0104-00
A1	ユニバーサル・ユーロ電源コード	161-0104-06
A2	英国電源コード	161-0104-07
A3	オーストラリア電源コード	161-0104-14
A4	240 V 北米仕様電源コード	161-0104-08
A5	スイス電源コード	161-0167-00
A6	日本電源コード	161-0322-00
A10	中国電源コード	161-0306-00
A99	電源コードまたは AC アダプタなし(オプション A99)	—

索引

English terms

BIOS

設定, 11

TLA オフライン, 16

TLA オンライン, 16

TLA サーバ, 22

あ

アクセサリ, 25

オプション・アクセサリ, 25

スタンダード・アクセサリ, 25

接続, 2

安全にご使用いただくために, iii

い

インストール

ソフトウェア, 13, 14

ソフトウェア: TPI ソフトウェア, 14

ソフトウェアを PC に, 15

う

受入検査

実行, 7

プローブのチェック, 7

お

お客様登録カード, 1

オプション・アクセサリ, 25

オプション, 26

か

拡張診断, 21

関連マニュアル, viii

き

起動時のセルフテスト, 21

キーパッド, 9

く

クリーニング, 20

LCD ディスプレイ, 20

さ

再インストール, ソフトウェア, 13

TLA アプリケーション・ソフトウェア, 14

サードパーティ・ソフトウェア, 15

サービス

一般的な問題のチェックリスト, 23

機器診断, 21, 22

サービス, ユーザ

予防保全, 19

し

自己校正, 19

シャーシのグラウンドの位置, 2

診断, 21

TLA メインフレーム, 21

拡張, 21

機器, 22

電源オン, 21

す

スタンダード・アクセサリ, 25

せ

接続

アクセサリ, 2

プローブ, 4

全般的な保守, 19

前面パネル・コントロール, 9

そ

ソフトウェア

BIOS 設定, 11

PC へのインストール, 15

TLA メインフレームの診断, 21

インストール, 11, 14

インストール: TPI ソフトウェア, 14

拡張診断, 21

起動時のセルフテスト, 21

サードパーティ, 15

その他の診断, 22

問題点, 22

つ

積荷, 24

と

登録カード, 1

トラブルシューティング, 21

一般的な問題のチェックリスト, 23

ネットワークの問題, 22

ね

ネットワーク接続の問題, 22

は

ハード・ディスク

再フォーマット, 13

ハード・ディスク・イメージ

インストール, 12

ひ

必要条件

設置場所の検討, 1

ふ

- ファームウェア
 - アップグレード, 17
- ファームウェアをアップグレード, 17
- 付属品リスト
 - チェック, 1
- 付属品リストのチェック, 1
- プローブ
 - 接続, 4

ほ

- 保守
 - BIOS 設定, 11
 - 一般的な問題のチェックリスト, 23
 - インストール, ソフトウェア, 11

ま

- マニュアル, viii

も

- 問題点
 - ソフトウェア, 22
 - チェックリスト, 23

ゆ

- 輸送用の梱包, 24
- ユーザ・サービス
 - 全般的な保守, 19
 - 予防保全, 19

よ

- 予防保全, 19
- LCD ディスプレイ, 20
- クリーニング, 20
- ディスク, フロッピー・ディスク・ドライブ, 21

り

- リモート操作, 16

ろ

- ロジック・アナライザ
 - インストール, ソフトウェア, 11
 - 受入検査, 7
 - 再インストール, ソフトウェア, 11
 - 自己校正, 19
 - シャーシのグラウンド接続, 2
 - 設置場所の検討, 1
 - 付属品リスト, 1
 - プローブの接続, 4
- ロジック・アナライザの説明, vii